

平成29年度 特別会計決算

町には、一般会計の他、7つの特別会計と1つの企業会計があります。特別会計は、特定の事業や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計と区別して設置します。

各会計の決算額は以下のとおりです。

平成29年度 会計別決算額

(万円未満は四捨五入)

会 計 名	歳 入	歳 出
一般会計	73億1674万円	72億2164万円
学校給食事業特別会計	1億1407万円	1億1374万円
公共下水道事業特別会計	3億8054万円	3億8024万円
国民健康保険事業特別会計	21億3190万円	20億9933万円
農業集落排水事業特別会計	1億6442万円	1億6432万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	354万円	354万円
介護保険事業特別会計	13億6902万円	13億3198万円
後期高齢者医療事業特別会計	1億7937万円	1億7605万円

会 計 名	収 入	支 出
水道事業会計	収益的収支	4億2448万円
	資本的収支	9298万円
		3億9844万円
		2億4724万円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

町の財政は「健全」

財政健全化判断比率および資金不足比率が報告されました。健全化判断比率のうち、いずれかが早期健全化基準以上になった場合は、財政健全化計画を策定し、財政の健全化を図ることとなります。

町の平成29年度決算においては、いずれの数値も早期健全化基準などを下回っています。

1 健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— % (15.0)	— % (20.0)	10.5% (25.0) 〔10.7%〕	— % (350.0)

備考 各比率の早期健全化基準は()内に記載
実質赤字額がない場合「—」を記載 前年度は〔 〕に記載

2 資金不足比率

公営企業会計の名称	資金不足比率
水道事業会計	— %
公共下水道事業特別会計	— %
農業集落排水事業特別会計	— %

備考 資金不足がない場合「—」を記載

早期健全化基準……………地方公共団体の財政の健全性に関する基準。

実質赤字比率……………一般会計と一部の特別会計を合わせた赤字の割合。

連結実質赤字比率……………全ての会計を合わせた赤字の割合。

実質公債費比率……………借入金の返済額とこれに準ずる経費の割合。

将来負担比率……………企業会計、出資法人も含めた将来の支出予定額の割合。

資金不足比率……………事業規模から見た各公営企業の資金不足の割合。

一般会計補正予算

吉中増築工事に大幅補正

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億8648万円を追加し、総額75億2674万円としました。

歳入の主な補正

(増額)	
地方特例交付金	1396万円
地方交付税	3029万円
国庫支出金	
保育所等整備交付金	620万円
南下城山防災公園事業補助金	222万円
繰入金	
財政調整基金	3948万円
渇水対策施設維持管理基金	977万円
教育文化振興基金	500万円
町債	
臨時財政対策債	750万円
駒小体育館用地取得事業	2160万円
吉中校舎増築関連移設事業	2980万円

歳出の主な補正

(増額)	
第三保育園新築助成事業	697万円
小倉揚水機場揚水ポンプ購入費	833万円
町道改良測量設計委託料	1620万円
バスターミナル概略検討業務	490万円
南下城山防災公園整備事業費	350万円
スクールバス購入事業費	771万円
駒小建物補償費	1000万円
中学校校舎増築関連移設工事	3985万円
緊急対策工事	982万円
(中学校ブロック塀の安全対策のため)	
八幡山グラウンド仮設広場整備工事	1200万円
給食センター施設補修計画検討業務委託料	300万円
(減額)	
町民プール解体工事	994万円

関連記事↓P.10

問 バスターミナル概略検討業務の内容は、駒寄スマートICの東側の商業地域に、高速バスなどの発着を誘致するための基礎資料の作成。

問 八幡山グラウンド仮設広場整備工事の利用目的と、その必要性は。

答 整備の目的は町有地の有効活用であるが、中学校ソフトボール部も練習可能な仮設広場とすることで、中学校校庭の部活動中の安全確保が図れると考えている。

平成30年度 各会計別補正予算の状況

(万円未満は四捨五入)

会 計 名			補 正 額	補正後の予算額
一般会計			1億8648万円	75億2674万円
特別会計	学校給食事業		13万円	1億2158万円
	公共下水道事業		1945万円	4億4809万円
	国民健康保険事業		2345万円	19億2492万円
	農業集落排水事業		▲72万円	1億5770万円
	介護保険事業		3711万円	14億8546万円
	後期高齢者医療事業		309万円	1億8784万円
企業会計	水道事業	収益的収支	▲47万円	4億291万円
		資本的収支	4万円	2億8131万円